

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年12月25日

計画の名称	習志野市における活力ある市街地・基盤づくり（防災・安全）（その１）（重点）														
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度（５年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	千葉県														
計画の目標	大規模自然災害発生直後から土地区画整理事業区域内外において、応急対策活動や地域住民の避難、災害物資運搬等が迅速かつ円滑に行われるよう災害時の広域避難場所・主要公共施設などへの路線確保に向けた区域内の道路事業を進め、広域道路ネットワークを強化する														
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		2,970	A	2,970	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初		R11末
1	各区画整理区域内における国土強靱化地域計画に基づく道路事業の供用率を100%とする。 災害時に区域内外において拠点となる広域避難場所等への道路ネットワーク状況を、供用率により定量的に示した。 対象となる路線のR5年度からの供用率＝Σ 区画整理区域内における対象路線の各年度末の供用延長（m） / Σ 区画整理区域内における対象路線の道路事業延長（m）			
		0%	%	100%
2	各区画整理区域内における防災拠点へのアクセス性を向上させる。 災害時に区域内外において拠点となる広域避難場所や主要公共施設へのアクセス道路における整備状況を、アクセス時間の短縮率により定量的に示した。 防災拠点へのアクセス時間の短縮率＝（Σ 当初のアクセス時間（分）－Σ R11アクセス時間（分）） / Σ 当初のアクセス時間（分）×100			
		0%	%	30%
3	各区画整理区域内における通学路交通安全プログラムに位置付けられた危険箇所の改善を図る。 区域内における通学路危険箇所の改善割合を、定量的指標に示した。 危険箇所の改善率＝Σ 危険箇所の改善数（箇所） / Σ 当初危険箇所数（箇所）×100			
		0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	千葉県	間接	習志野市鷺 沼土地区画 整理組合	区画	改築	鷺沼地区	区画整理 A=37.0ha	習志野市	■	■	■	■	■	2,970	1.69	-
											小計						2,970		
											合計						2,970		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	142				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	142				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	68				
翌年度繰越額 (f)	74				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					